



# 謹賀新年 2026



## 鶴岡八幡宮

鎌倉市雪ノ下二丁目一三三  
TEL〇四六七(二三)〇三二五  
FAX〇四六七(二三)四六六七

## 旧官幣中社

### 大塔宮 鎌倉宮

宮司 小岩裕一

鎌倉市二階堂一五四  
TEL〇四六七(二三)〇三二八  
<https://www.kamakuraguu.jp>

鎌倉大佛殿 高德院



本山東身延 本覚寺

## 瑞泉寺

鎌倉市二階堂七一〇  
TEL〇四六七(二三)一一九一

## 湘南モノレール株式会社

代表取締役社長 小川貴司

## 医療法人徳洲会

### 湘南鎌倉総合病院

院長 小林修三

鎌倉市岡本一三七〇一  
TEL〇四六七(四六)一七七七(代)  
<https://www.skgh.jp>

## 逗子市観光協会

会長 山上良

## 逗子市商工会

会長 山上良



## 鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選

枯芝生にお化けカボチャがごろごろと地雷埋まらぬ平和な二ホン  
ハロウィンの情景から地雷を連想し、平和を願う歌。  
妻の造語「赤秋」を愛し能登に生き仲代達矢いのち燃やせり  
老いて情熱を失わず生きた名優を象徴する「赤秋」。  
赤き木瓜老樹なれども帰り花二輪咲かせて師走むかえる  
逗子市 湊 美根子

具体の捉え方がいい。新年へむけての元気も出る歌。  
焼かれつつ焦がされつつもしやもらは声高らかにハレルヤ歌う  
藤沢市 藤本 和香  
のんちゃんと言のままだに吾を呼ぶ施設の兄の声のほびて  
津 石川 詔子

職人の指しなやかに壁を塗る艶やかな空は冬の前兆  
葉山町 中島 保行  
江の島へ光の橋の掛かり初め小さき地球に初日は届く  
片瀬 中村 喬

鎌倉の山よりぐんぐん昇りくる初日の出見つづつ平和祈らん  
植木 泰 和之  
小春日の人気少なき公園のバラの苗木の名札新し  
藤沢市 三浦 和子

凜として赤一本の冬の薔薇 熱き想いを忘れていたり  
藤沢市 青木寿美子  
アルプスの見えて信濃の林檎もく家族総出の声にぎやかに  
横浜 矢沢 寿美

〈天〉禅寺の僧の早足石路の花  
いかに鎌倉で見かけられる景色。石路の花の色どりを  
出している。明暗がでいた。

〈地〉小春日に鏡の如く光る海  
なかなか見立てのよい一句。小春日と光は別の輝きでも  
ある。季節が生きていた。

〈人〉一茶忌や今もお空に子と遊ぶ  
私も信州信濃町の一茶忌で講演をし、募りもしてきた。  
今なお残る一茶の句は永遠だ。

夕映えや遠き富士より鳥渡る  
富士からの鳥渡るは遠近があるようでない。写生が利いた。  
鎌倉や穴場はひとと谷戸紅葉  
片瀬 中村 喬

上五の切れ字が素晴らしい。二階堂も穴場である。  
小春日の我影軽くなりけり  
台 黒岩 伸幸

こんなところも客観的に見れていて全体が浮かんできた  
作品。

霜の華足踏みしつづつ見ゆ幼な  
秘境の地山峽に入り山眠る  
通学路朝の挨拶冬のちよう  
木守り柚子今年は唯一なりしもの  
訪ね来し北野仏に時雨かな  
羽子板の音懐かしき時代劇  
蠟燭の灯の消えるまでクリスマス  
箱根路の芒が原は雲の中  
寒柝にんへて星の揺れにけり  
小津映画心に残り秋刀魚焼く  
吾輩も猫も稀なり漱石忌  
鈍色の通学道に石路咲けり  
ものふの廟の香の満つ菊日和

小袋谷 眞壁 英子  
岡本 鳴海 紀政  
腰越 吉田 昭子  
城廻 横山 初恵  
城廻 増田 陽子  
材木座 羽賀 一男  
材木座 羽賀 潔子  
手広 高口 道宏  
山ノ内 高橋 仁  
藤沢市 黒田まもる  
葉山町 大塚喜代子  
逗子市 濱野八十一  
横浜 矢沢 寿美

# 午年

謹んで新春をお祝い申し上げます  
旧年中は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございました  
本年もどうぞよろしくお願ひします

朝日新聞サービスアンカー

ASA 藤沢中央

所長 笠本康夫

ASA 鎌倉深沢

所長 浅場 馨

ASA 大船西部

所長 細川 博

ASA 藤沢南部

ASA 腰越

所長 高村保一

ASA 東逗子・追浜

所長 太田征敏

ASA 湘南鶴沼

所長 岩井正樹

ASA 大船北部

所長 仁平秀洋

ASA 金沢八景

所長 鈴木欣充

ASA 逗子・葉山

ASA 鎌倉小町

ASA 鎌倉中央

所長 鈴木大介

ASA 大船・北鎌倉

所長 鈴木大海